

行政経営評価（施策評価）

コミュニティの視点 (生活と空間)	8. 広 域	「移住・定住推進」「国際交流」「男女共同参画」のほか、市単位で行ってきたもので外部と連携した方が効果的・効率的と考えられる分野を【広域コミュニティ】に該当する分野と捉えます。
------------------------------	---------------	---

施策分野	目指すべき姿
8-① 移住・定住推進	潜在的な移住希望者に対する積極的な働きかけを行うとともに、本市を選んでもらえるような生活環境を整備し、多くの都市住民に移住してもらえるまち
8-② 国際交流	市民一人ひとりが、異文化理解を深め、外国人住民と相互コミュニケーションが図られる多文化共生のまち
8-③ 男女共同参画	市民一人ひとりが、人として尊重され、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するまち
8-④ 広域連携（再掲）	ごみ処理や道路整備、消防、観光振興など、市独自で対応することが困難、あるいは非効率な分野について、関係市町等と広域的に連携して取り組むまち

■まちづくりの視点

市民の視点	行政区域にとらわれない市民・民間の連携を深める
行政の視点	広域的視点に立ったまちづくりに取り組む
協働の視点	市外の諸資源をまちづくりに積極的に活かしていく

■成果指標と現状

指標名 (対象分野)	計画策定時 (基準年度)	現状 (最新)	3年後 (2021年度目標値)	5年後 (2023年度目標値)	10年後 (2028年度目標値)
① 移住相談者のうち本市への移住者数 (移住・定住促進)	4人 (2017年度)	延べ 18人 (2021年度)	延べ 10人	延べ 14人	延べ 24人
② 移住相談件数 (移住・定住促進)	111件 (2017年度)	79件 (2021年度)	140件	160件	210件
③ 国際交流協会会員数 (国際交流)	109人 (2018年8月末)	79人 (2021年度)	140人	160人	160人
④ 日本語教室受講者数 (国際交流)	2018年6月 開講	延べ 199人 (2021年度)	延べ 340人	延べ 380人	延べ 480人
⑤ 審議会等における女性委員の割合 (男女共同参画)	26.4% (2018年4月1日)	27.0% (2021年度)	30.0%	40.0%	50.0%
⑥ 家族経営協定の締結数 ※ (男女共同参画)	144件 (2017年度)	160件 (2021年度)	149件	151件	156件

※家族経営協定：家族で取り組む農業経営について、経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境について家族みんなで話し合いながら取り決め協定を結ぶもの。「家族経営協定」を結ぶことによって認定農業者制度などのメリットがある。

成果指標と現状の分析
<p>移住・定住促進の分野では、移住相談者のうち本市への移住者数の値は順調に推移しているものの、転出超過人数の増加が続いている現状を踏まえると、更なる取組の強化が必要である。そのような中で、令和2年度から開始した地域おこし協力隊は、都市部の人材に移住してもらい、更に地域活動の人材確保にもつながる効果的な取組となっている。今後も取組の拡大を図りつつ、任期満了を迎える隊員には、定住定着に向けたサポートを行う。</p> <p>国際交流の分野では、コロナ禍での入国制限などにより、一時的に外国人住民人口が減少したものの、令和4年度に入り再び増加傾向になるなど、引き続き多文化共生に向けた取組の必要性は高まっている。コロナ禍で指標の値は伸び悩んでいるが、今後は、感染防止対策を徹底した上で、対面での活動を再開していく。</p> <p>男女共同参画の分野では、指標の値は順調に推移している。令和4年度で第3次男女共同参画計画の計画期間が満了することから、目標達成に向け、第4次男女共同参画計画を策定し、更なる取組を推進していく。</p>

行政経営評価レポート

	所管	企画室
事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（多文化共生）	事業ID
		10201086202

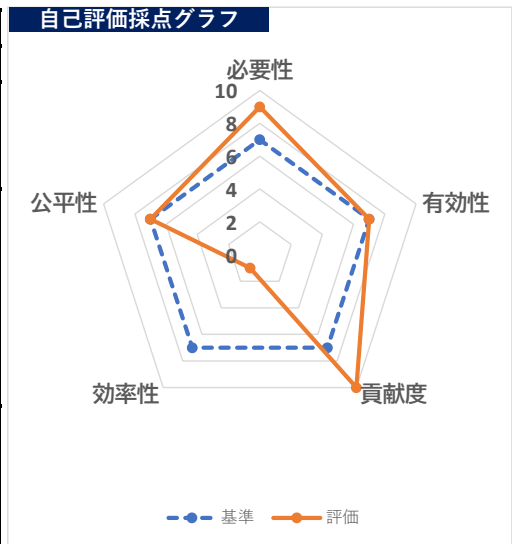
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
地域おこし協力隊員数（多文化共生）	人	目標値	1	1
		実績値	1	1
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>隊員1名(R2.11着任)を委嘱し、家族を含め4名の移住が実現した。コロナ禍のため、対面による活動が制限される中、外国人向けの行政手続きガイドブックを作成し周知した。また、国際交流イベント”World Travel in Choshi”を開催し、在住外国人と日本人との交流を深めた。</p>				

5 事業の検証

必 要 性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢 献 度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効 率 性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	事業を拡大
見直しする内容	地域おこし協力隊（多文化共生）を1名から3名に増員する。
今後の予算規模の方向性	予算規模を拡大する
(上記理由)	
<p>現在、1名の地域おこし協力隊（多文化共生）を委嘱しているが、さらなる多文化共生の推進のため増員を検討する。なお、経費については特別交付税により措置される。</p>	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>隊員は、地域に定着し、着実に人脈を築くなどしている。多文化共生のさらなる推進のため、今後、地域おこし協力隊（多文化共生）を現在の1名から増員を検討していく。</p>

行政経営評価レポート

	所管	観光商工課
事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（起業型）	事業ID
		10701023025

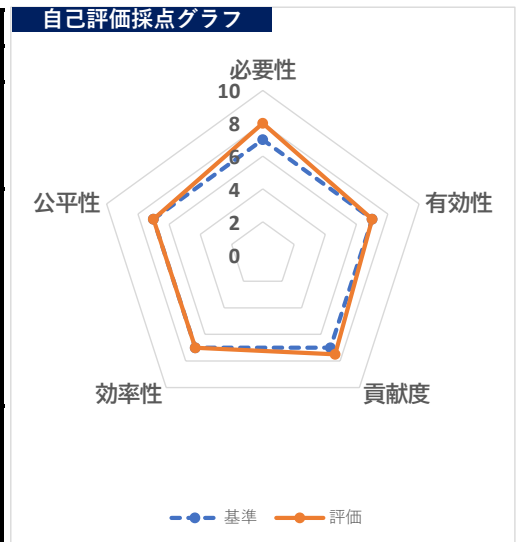
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
地域おこし協力隊員数（起業型）	人	目標値	2	—
		実績値	2	2
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>よそ者として移住してくる協力隊が孤立せずに地域に入り込めるかというのが一つの課題であったが、コロナ禍という厳しい状況にも関わらず、市民や市内事業者との交流が増え、起業に向けて活動を進めている。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	評価対象外
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	評価対象外
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	評価対象外
	関連・類似事業との統合	評価対象外
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	a:事業内容を見直す
見直しの種類	事業を拡大
見直しする内容	協力隊の増員
今後の予算規模の方向性	予算規模を拡大する
(上記理由)	
協力隊員同士の連携により、より効率的・効果的な地域おこし活動の実行が見込まれるため。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	
千葉県いすみ市においては、二十名以上の地域おこし協力隊が活動している。	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>隊員ごとに有するスキル、経験、目標により、交流する市民や事業者のネットワークが異なるだけでなく、必要となる支援も様々である。今後もそれぞれの協力隊員にあった支援を継続し、期間満了後の起業の準備を進めていく。</p>
--

行政経営評価レポート

		所管	企画室
事務事業名	国際交流経費	事業ID	10201082602

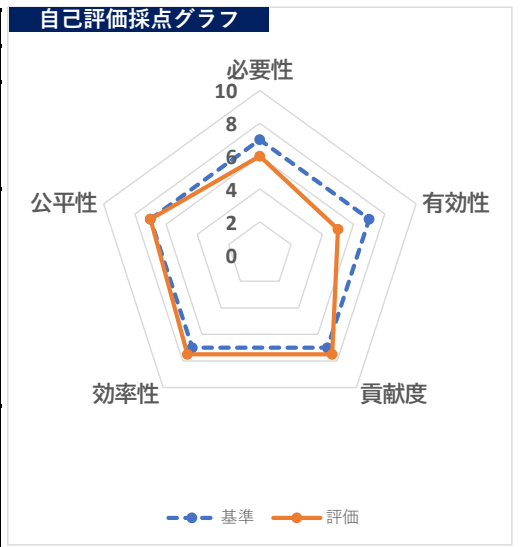
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
日本語教室の受講者数	人	目標値	300	300
		実績値	55	199
国際交流イベントの開催回数	回	目標値	3	3
		実績値	1	2
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
外国人住民人口	人	目標値	2,329	2,329
（ 住みやすい環境づくりによる人口の増加 ）		実績値	2,358	2,193
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>コロナの影響で日本語教室の受講者数は伸び悩んだが、オンラインで工夫して開催したことにより、新しい可能性が見いだせた。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	成果が概ね出ているが、更なる努力は必要である
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	市内在住の外国人住民の人数は年一増大しており、更なる取組が必要。事業の拡大、経費の増大も想定される。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	
	【日本語教室開催数】銚子市 2教室開催、香取市 1教室開催、匝瑳市 1教室開催、神栖市 9教室開催



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>外国人住民の増加により、外国人住民が社会生活を円滑に営むことができる環境の整備の必要性は増大している。事業の担い手となる銚子市国際交流協会の活性化に向け支援を行い、交流イベントや日本語教室を継続して実施していく。</p>

行政経営評価レポート

	所管	子育て支援課
事務事業名	DV相談経費	事業ID
		10303010920

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
DV相談受理件数	件	目標値	—	—
		実績値	36	35
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		

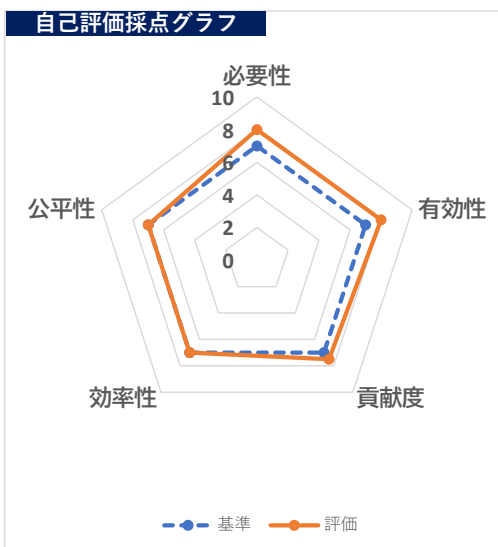
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

DV被害者の安全確保と自立の支援に寄与した。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
DV相談員を配置し、配偶者から暴力を受ける被害者からの相談に応じ、必要に応じて保護を実施することは被害者の安全確保と自立の支援に資する有効な手段であると考え、予算規模を現状維持する。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

DV相談員を配置し、配偶者から暴力を受ける被害者からの相談に応じ、必要に応じて保護を実施することは被害者の安全確保と自立の支援に資する有効な手段であると考え、今後も継続していく。

行政経営評価レポート

		所管	企画室
事務事業名	男女共同参画経費	事業ID	10201080202

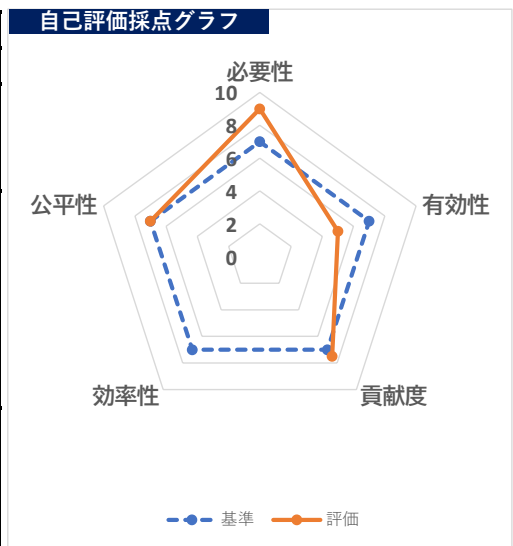
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>男女共同参画を策定し、計画に対する取組状況を毎年確認し、銚子市男女共同参画推進本部及び銚子市男女共同参画推進委員会へ報告している。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	成果が概ね出ているが、更なる努力は必要である
	貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度
効率性	事業費等の削減努力	#N/A
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	事業の方向性や手法は、概ね適切であり、一定程度の成果は出ているが、更なる努力が必要なため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>第4次銚子市男女共同参画計画（令和5年度～令和9年度）策定に向け、国や県の動向を注視し、実現可能な計画を策定していく。</p>
--